

TRICK'N TRY MOTOSUKO
JWA JAPAN PRO TOUR FREESTYLE 2022~2023 #2
～大会レポート～

日程 2022年5月28日(土)～29日(日)

場所:山梨県南巨摩郡身延町

本栖湖ファンボードゲレンデ

レポート:JWA 公認プロ 津野 健介

写真:杉 佳子

2年越しの開催！TRICK'N TRY MOTOSUKO 2022

2022年5月28日～5月29日に本栖湖ファンビーチゲレンデにて、JWA フリースタイルプロツアー第2戦となる TRICK'N TRY MOTOSUKO が開催された。コロナ禍の影響により2年間開催ができなかったため、今回は2年ぶりの開催となった。

本栖湖は午後から風が入って来ることが多い場所で、今大会の天気と気温から、運営スタッフ、選手の多くが良い風を期待していた。

その為、午前中はノンプレーニングクラスの消化、午後からプレーニングクラスというバランスの良い形でヒート進行が行う予定であった。

・ノンプレススペシャル

今大会のノンプレススペシャルクラスは、12人が参加し、大きいボードで止まらずにセイルトリムで勝負する勢とフリスタボードで凄まじいバランス力でアクションを行なっていく勢で大きく分かれていた。

大きいボードを利用して特に注目を集めていたのが、江ノ島ショップ 3E オーナーでプロウインドサーファーである加藤選手だ。加藤選手は3分間のヒート中常にトリックを出し続け、なおかつ一つ一つのトリックも高難易度のノーハンド系トリックをクリーンにメイクし続けた。フリーなスタイルで観客を釘付けにする演技は圧巻であった。

大きい体でありながら、小さいフリスタボードで素晴らしいバランス力を活かし、大きいボードに乗っているかのように錯覚させる演技を行うのは杉匠真選手だった。ノーハンド系のトリックを小さいボードで繰り出す演技は、いま現在彼にしか成せない技であろう。

今大会では特に目立っていたトリックがある。それはシーザースロー（ジョイントベースを外し、セイルを逆さまにしてハンマー投げの容量でセイルを空中に投げキャッチするトリック）である。ヒート後半になると数人の選手はジョイントを外す仕草が多く見られた。その中でしっかりセイルを投げることができていたのが加藤選手である。あとはキャッチ

してメイクするのを誰もがみたい瞬間だ。杉選手や今大会3位の池照選手も練習中のトリック。次の大会で誰がメイクするか、非常に見応えがあるだろう。



優勝：杉匠真



2位：加藤友隆

3位：池照貫吾



・ノンプレオープン (21歳以上)

ノンプレオープンは前回同様、オープンクラスではヘリタック、ダックジャイブ、アップウインド360が規定演技として設置されており、その規定演技をメイクした選手からフリー演技に入れるというルールで行なった。これは規定演技を早くメイクした選手がよりヒートを有利に進められるという意味にも捉えられるだろう。オープン over21 では規定演技をスムーズにメイ



クし、キレと高さのある目立ったゲコを連発でメイクしていた都田選手が優勝を勝ち取った。2位は逗子大会のノンプレオープン優勝を飾った、毎年フリースタイルの大会にエントリーをし続けていただいているベテラン鶴巻選手、3位にはスペ2位の3e店長加藤プロの元で練習をしている安川選手がランクインした。今回は規定演技のダックジャイブに多くの選手が苦戦しているのが見受けられた。11月大会でダックジャイブに磨きがかかり、さらにパワーアップした演技が拝見できるのが楽しみである。

・ノンプレオープン (20 歳以下)

今大会のノンプレオープンは全員中学生以下の女子 4 人の参加となった。ノンプレオープンなので規定演技はヘリタック、ダックジャイブ、アップウインド 360 の 3 つである。全員が規定演技は難なくクリアしてすぐにフリー演技に入るのは、素晴らしいバランス力と風に対してのセイルを出す角度がわかっている為に成せる技である。そ



の中で毎大会目立った演技を見せるのは山田美結選手である。止まることなく演技を繰り返し出し、その中でチャーチスローを軽々とメイクする姿はスペシャルクラスの選手も顔負けである。2位は他の選手より大きめのセイルを使って演技を大きく見せることができた堺希海選手、3位は逗子海岸で日頃から練習を重ねて成長を見せる秋田ふみ選手となった。

1 日目と 2 日目の午後はこのように風待ちも兼ねてノンプレヒートの消化を行い、2 日目の夕方からようやく風が入ってきたがガスティなコンディションでブローで 7m ほどであった。しかし、時間も押してしまっていた為公式ヒートは行えず、プレーニングクラスはセッションでの成立となった。

オープン A+B

オープンクラスは A と B の混合という形となった。オープン A では小西選手、互井選手、岡本選手、オープン B では松本選手が参加し、短いブローの中で果敢にフラカ、スポック、バルカンをトライして、トライした技数の多さから互井選手がオープン A クラスの優勝を飾った。

オープン B は松本選手の優勝となった。次回は強い安定した風で選手の最高のパフォーマンスを披露していただきたい。



ウィメンズクラス

ウィメンズクラスは後藤選手、互井選手がジャンプ系トリック（フラカ、グラビー）に果敢にトライし優勝を飾ったのは互井選手であった。トライを重ねた後藤選手は2位。秋田選手は3位となった。

スペシャルクラス

スペシャルクラスは9人のエントリー。スペシャルクラスでファイナルに進んだのは小西選手、吉田選手の若手2人と梅川選手、市川選手のベテラン2人の対決となった。ベテラン梅川選手はフラカをインサイドジャッジ正面でクリーンメイクし優勝。インサイドでスポックをメイクした市川選手は2位。アウトサイドでハーフのスイッチチャーチョをメイクした吉田選手は3位となった。ベテラン勢の試合運びと本栖湖の風の特徴を掴んでいるポイントがプラスに働いた内容であった。



プロクラス

プロクラスでファイナルに進んだのは、杉選手、池照選手、山本選手、守屋選手である。このファイナルが始まった頃には風はほとんど無く、単発短いブローでもパンピングして走らせられるか走らないかの風であった。その中でもさすがプロと言わんばかりの数多くの多彩な技をメイクした。その中でシャカを両サイドメイクしたのが杉選手で優勝。2位はロリポップをクリーンにメイクした守屋選手。十八番トリックチャーチョをメイクした池照選手が3位となった。



写真

大会1日目：<https://photos.app.goo.gl/iosdC53453BqLF7F8>

大会2日目：<https://photos.app.goo.gl/bjpUo9qW595sxsaE6>

映像：<https://youtu.be/AbpEoq8P79I>

終わりに

多くの選手が望んでいた本栖湖の風には恵まれず、公式ヒートは行われなかったものの、選手一同交流を深め、フリースタイルの発展にまた前進した大会であった。

毎年この大会は本栖湖『洪庵』の赤池様をはじめとする方達のご協力のもと開催ができております。その旨をこの場を通じて感謝申し上げます。

